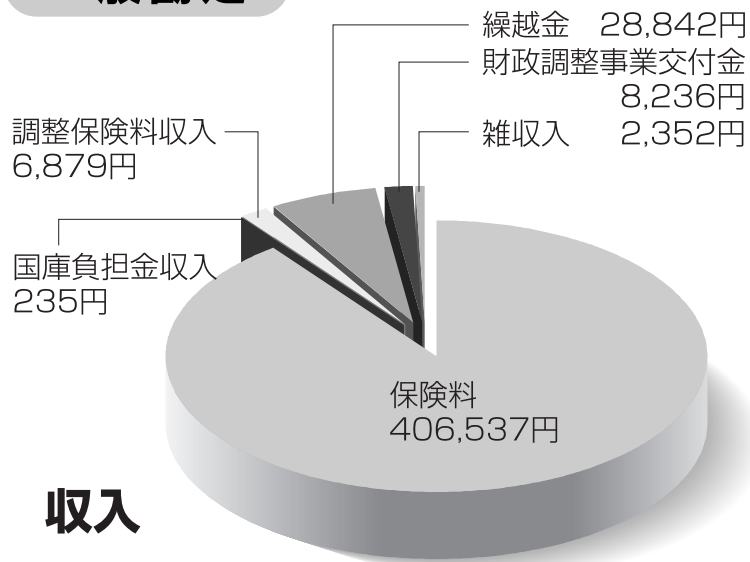
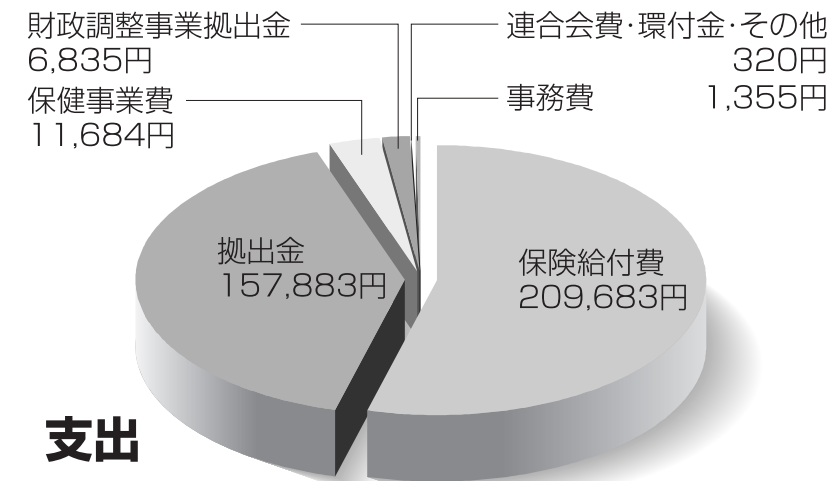


1人当たりでみた平成18年度の決算概要

一般勘定



収入合計 453,081円 経常収入合計 409,125円



支出合計 387,760円 経常支出合計 380,924円



医療制度改革第3弾の施行に向けて

平成18年度の決算は、前年度に引き続き黒字で終わることができました。しかし、今後の健保組合を取り巻く状況を考えると決して楽観はできません。医療制度改革第3弾となる「新しい高齢者医療制度の創設」や「40歳以上のすべての加入者を対象とする特定健診・特定保健指導実施の義務化」など、大きな改正が来年の4月に控えており、それらの改正は健保組合の財政にも大きく関わってくることとなります。

ご自身の健康のためにも、日ごろから健康管理に留意するとともに、来年度から始まる特定健診をご家族とともに受診し、病気の予防に努めていただきますようお願いいたします。

平成18年度の決算が承認されました

保険料の増収などにより 4期連続の黒字決算!

当健保組合の平成18年度決算が、先に開催された組合会において可決・承認されましたので、その概要をご報告します。

年間平均の被保険者数が対前年比で109.9%と大幅に増加した平成18年度。若い世代の加入が多くを占めたため、平均標準報酬月額も前年の96.6%に低下しましたが、賞与分の増加等もあり、保険料収入は前年度に比べて1億8323万円増の28億2461万7千円となりました。

また、平成16年に行われた健保連の財政調整事業交付金の支給基準の改正の効果により、支払った高額医療費の58.1%にあたる5722万4千円が還付されました。

支出面では、みなさまの医療費削減のご協力もあり、保険給付費が予算時に比べて1億4千万円減の14億568万8千円となりました。被保険者1人当たりの額では、前年度に比べて1万5千円の支出減となりました。

その結果、収支差引額で4億5386万円の黒字決算となり、財政の健全性を示す経常収支差引額でも1億9593万6千円の黒字となりました。

介護勘定は、被保険者数の増加に伴う介護保険収入の増収と、支出がほぼ予算どおりに推移したことにより、予算時に計上していた繰入金繰り入れることもなく決算を終えることができました。

平成18年度 一般勘定収支決算概要

収入		支出	
科目	決算額	科目	決算額
保険料	2,824,617千円	事務費	9,415千円
国庫負担金収入	1,634	保険給付費	1,456,880
調整保険料収入	47,798	〔法定給付費〕	〔1,428,841〕
繰越金	200,397	〔付加給付費〕	〔28,039〕
財政調整事業交付金	57,224	拠出金	1,096,971
雑収入	16,347	〔老人保健拠出金〕	〔618,492〕
		〔退職者給付拠出金〕	〔478,479〕
		保健事業費	81,181
		財政調整事業拠出金	47,490
		連合会費・還付金・その他	2,220
合計	3,148,017千円	合計	2,694,157千円
経常収入	2,842,598千円	経常支出	2,646,662千円
		収支差引額	453,860千円
		経常収支	195,936千円

平成18年度 介護勘定収支決算概要

収入		支出	
科目	決算額	科目	決算額
介護保険収入	233,217千円	介護納付金	222,068千円
繰越金	100	介護保険料還付金	48
合計	233,317千円	合計	222,116千円
		収支差引額	11,201千円

残金処分	処分項目	金額
	法定準備金	4,201千円
	繰越金	7,000
	合計	11,201千円



残金処分	処分項目	金額
	別途積立金	253,549千円
	繰越金	200,000
	財政調整事業繰越金	311
	合計	453,860千円

